

東根市立神町中学校 校長だより <最初は「たった一人の小さな活動」から始まる>

# 行雲流水

No.288 令和5年4月18日発行

春の花におもう

校長 寒河江 正人

**春は、色とりどりの花々を楽しめるいい季節だ。**

ところで、生徒諸君は、行ったことがあるかなあ。  
天童市と山形市の間を流れる**立谷川の河川敷にある芝桜の公園。**

思い立って、日曜日の午後にちょっと行ってみた。  
なんと、各地から大勢の見物客が訪れ、にぎわっていた。

**一面の芝桜のジュータン。**  
見事な景色に見とれてしまった。

聞くとところによると、今をさかのぼること**17年前の平成18年、**  
天童市荒谷に住む**田所三男さん**という方が、ゴミが不法投棄される河川敷の姿を悲しみ、  
たった一人で、**河川敷の整備と芝桜の植栽を始めた**という。

その思いに共感したご近所の方々や友人など22人が集まり、  
ボランティアグループ「**立谷川の花さかじいさん**」を結成し、今日に至るという。

田所三男さんは、平成25年にお亡くなりになられたが、  
その思いを受け継ぐの方々によって、会員は40名、**年間7万人が訪れる名所**となった。

最初は、**たった一人の「純粋なボランティア活動」。**  
その「**小さなタネ**」が、芽を出し、葉を広げ、多くの花を咲かせ、人々の心に感動を生む。

**本校の花壇のチューリップたちも、見事に咲きそろった。**  
**赤・白・黄色の花が、春の日差しを受けて、微笑んでいる。**  
**生徒昇降口のフ란ターのパンジーたちも、何だかうれしそうだ。**

こうして花開くまでには、「**自立ため小さな活動**」を担う**人たちが**支えている。  
さあ、生徒諸君。自分自身に「**小さなタネ**」をまいてみよう。根気強く、育ててみよう。